PR 人と地域と行政をつなぐ 週刊マガジン まち・ひと つながる

今週号からスタート! 毎週、まちづくりに関する さまざまな話題を お届けします!

人と地域と行政をつなぐ 週刊マガジン まち・ひと つながる

熊本市まちづくりセンター通信 vol.1

熊本市各地域の「まちづくりセンター」の活動報告・イベント情報をお知らせします。

富合まちづくりセンター(南区)

富合校区のコミュニティセンター・ワークショップ

地域活動の拠点となるコミセンを一日も早く富合に!

2008年に旧富合町と熊本市が合併して以来、富合地域では地域コミュニティセンター(コミセン)の建設が住民の悲願でした。すでに設置されている校区では、コミセンがさまざまな地域活動や住民の交流の場として欠かせない存在になっているのも、理由の一つです。

コミセン建設に向けた動きが本格化した今年、7月から9月にかけて計4回、幅広い世代の住民21人が参加して「富合校区のコミュニティセンター・ワークショップ」が開かれました。1~3回のワークショップでは、住民が、「どんなコミセンにしたいか」をテーマに、それぞれの立場で意見や要望を出し合い議論。それを基に、設計会社が作成した複数のプランを検討しながら絞り込みを行い、徐々に「自分たちのコミセン」が形になってきました。

早ければ再来年春に 住民の念願が結実

プランを決定する4回目は、収納スペースの位置や事務所の広さなどについて、ギリギリまで議論が白熱! 最終的なプランが決まった時には、会場に拍手が湧きました。今後は、市の予算要求などを経て、早ければ再来年春にも富合校区に念願のコミセンが開設されます。

富合まちづくりセンターでは、地域担当職員もワークショップに参加し、住民との情報共有を図ったほか、設計のための現地測量などにも立ち合いました。「富合校区は、元々、文化活動が活発な地域ですが、コミセン開設を機に、さらに活性化すれば」と同センターの黒木善一所長。

「行けば誰か知り合いに会える」ような、気軽に立ち寄れるコミセンを待ち望む住民たち。完成が待ち遠しいですね!

住民主体で進められるコミセン設置に向けた話し合いだけに、参加者の思いもひとしお

グループ会議で出た意見や要望は、付箋に書いて貼り出します

「コミセン」って何?

「地域コミュニティセンター」の略称で、まちづくりの各種イベントや地域保健福祉、ボランティア活動、健康増進、生涯学習など、住民主体の地域づくり活動を支援するための拠点施設として、熊本市が整備を進めています。施設内には多目的ホールや会議室などもあり、2017年4月1日現在で、市内73カ所に設置されています。

私も参加しています!

まちセンと力を合わせ 住民に親しまれる コミセンに!

富合校区自治協議会 会長 海平正俊さん

富合校区では、これまで「創造的なまちづくり」の拠点として、コミセン設置を要望していましたが、昨年の熊本地震以降、その必要性をさらに強く感じるようになりました。

というのも、富合町には市の支所がなく、地震の際は校区自治会の災害対策本部を設置する場所が確保できなかったほか、救援物資の受け入れ拠点も設けられず、困りました。

ワークショップでは、住民の皆さんの「ぜひコミセンを」という熱意をひしひしと感じました。ただ、実際に設置されれば、その後の運営が大変です。私たちだけでは力の及ばないところは、ぜひまちセンの協力も得ながら、皆さんに親しまれるコミセンを創り上げていきたいですね。

さまざまな意見が飛び出して盛り上がったグループ会議

地域のカラオケ大会で みんなで「恋ダンス」を披露♪

まちづくりセンター(まちセン)開設から半年ですが、富合地域の皆さんの"地元愛"と地域活動にかける熱意には驚かされます。これからも、一緒にまちづくりを進めていきます!

富合まちづくりセンター
(写真左から)
主査 吉住有希子さん
所長 黒木善一さん
主任主事 澤井 愛さん

わがまちTopics

市内各校区で行われたさまざまなイベントの様子や、これから行われる催しの情報を、まちセンとの関わりなども交えて紹介します。

■高齢者サロン同士が交流 【託麻原校区~つながるサロン~】

9月13日、託麻原地域コミュニティセンターで「高齢者サロン交流会(つながるサロン)」が開催されました。同校区では、孤立防止や介護予防、居場所づくりなどを目的に、各町内で「高齢者サロン」の立ち上げが進められており、現在14町内中11町内で運営されています。交流会には、同校区内の高齢者サロンの代表者等が集まり、それぞれの特色を発表し合ったほか、「参加者の発掘」や「担い手育成」などの課題を話し合うワークショップも実施。また、地域担当職員は会議運営のサポートに当たりました。

問中央区まちづくりセンター
☎096(328)2232

■子ども力士に大きな声援!

【第9回 こども相撲大会(春竹校区)】

9月30日、春竹校区の小学1~6年生が参加する「こども相撲大会」が同小体育館で開かれました。低学年のかわいい取り組みや高学年のたくましい姿に、地域の皆さんから大きな声援が送られました。

問中央区まちづくりセンター
☎096(328)2232

告知

■地域の手作り音楽イベント

【身近な森の音楽会】

10月21日(土)17時~、龍田中学校横の「龍田プレイパーク」にシンガーソングライター・しらいみちよさんを迎え、「身近な森の音楽会」が開催されます。他に龍田地区の小学校、中学校の吹奏楽部の演奏なども。

問龍田まちづくりセンター
☎096(339)3323

ハイ! 中央区まちづくりセンターです!

熊本市内17カ所のまちづくりセンターを、それぞれのまちセンスタッフ(地域担当職員)が紹介します!

移動には自転車が必須! 課題解決はアイデア出し合って

参事 田端 歩さん

8人の地域担当職員で全19校区を回っています。管内エリアがコンパクトなこともあり、移動手段はもっぱら自転車! フットワーク軽く積極的に地域に出向くことで、声を掛けていただく機会も増えました。企業や商店街、教育機関が集積している中央区の特性を生かし、それらと連携した住民主体のまちづくりを進めていきたいと思います。そして、「ずっと住み続けたいまち」を目指し、皆さんと一緒に知恵を絞り、汗を流していきます。市役所1階の31番窓口に、気軽にお立ち寄りください!

17カ所のまちセンのうち、最も多い8人の地域担当職員がいる中央区。もちろん、チームワークもバッチリ!?

お問い合わせ
●熊本市地域政策課 ☎096(328)2031(月~金曜・8:30~17:15)、chiikiseisaku@city.kumamoto.lg.jp
●富合まちづくりセンター ☎096(357)4580 ●中央区まちづくりセンター ☎096(328)2232